首都日進国際学院

Syuto Nissin International Institute

【まなび、つながり、はばたく】

設置者：日進教育株式会社

〒513-0801
三重県鈴鹿市神戸一丁目5-1
1-5-1 Kanbe, Suzuka, Mie

TEL(日本):+81-59-392-9832

FAX(日本):+81-59-392-9833

目次

学校概要・・・・・・・・・P2

コース・・・・・・・・・P3-P4

校舎紹介・・・・・・・・・P5

褒章制度・進学指導・・・P6

費 用・・・・・・・・・・P7

学校行事・・・・・・・・・P8

学生納付金返還規定・・・P9

生活関連・・・・・・・・ P10

鈴鹿紹介・・・・・・・裏表紙

学校概要

理念

学生が日本社会で自分らしく生き、自己実現できるようにするとともに、学生と地域をつなぎ、ともに成長することを通じ、多文化共生社会の実現に寄与する。

目的

アジアからの学生を受け入れ、日々の活動と地域との交流を通じ、実践的なコミュニケーション能力、自律性、異文化理解能力を養い、将来、多文化共生社会の担い手となる人材を育成する。

目標

1. 学生がコミュニケーション能力を伸ばし、様々な場面で対話により課題を乗り越えられるようになる。

2. 学生が自律性を高め、日本で進学するという目標の達成に向け計画を立て、それに基づき行動し、振り返りを行いながら着実に取り組みを進めることができるようになる。

3. 学生がともに学ぶ仲間と協働で課題に取り組むことができるようになる。

4. 学校が地域とつながり、行事への参加や交流活動を通じ「開かれた学校」となり、学生と地域の方々がともに学べる環境を創出する。

5. 学校が教職員のウェルビーイングを実現し、「働きやすさ」と「働きがい」のある職場をつくる。

コース

コース・学生数

コース名	入学	修業年限	学生数
進学２年コース	４月	２年	６０名
進学１年６か月コース	１０月	１年６か月	４０名



	時限	時間
午前クラス	1時限	09:10～09:55
	2時限	10:05～10:50
	3時限	11:00～11:45
	4時限	11:55～12:40

	時限	時間
午後クラス	1時限	13:40～14:25
	2時限	14:35～15:20
	3時限	15:30～16:15
	4時限	16:25～17:10

授業科目

【総合】

「聞く」「読む」「話す（やりとり）」「話す（発表）」「書く」活動を通じ社会問題や抽象的なテーマを扱った課題に取り組み、日本語力を総合的に伸ばします。

【文字語彙】

日常生活で使うことができることばを増やし、必要に応じ漢字を読み、書き、入力することができるようになります。

【探究】

自ら課題を設定し、情報を集め、説得力のあるプレゼンテーションを行う力をつけます。

【読解】

日常生活で目にする様々な文章を読み、必要な情報を得たり、要点をつかむことができるようになります。

【聴解】

日常生活で耳にする様々な音声や日本語話者どうしの会話を聞き、必要な情報を得たり、要点をつかむことができるようになります。

※学生一人一台タブレット端末を支給し、協働学習・自律学習の促進に役立てます。

コース

到達目標

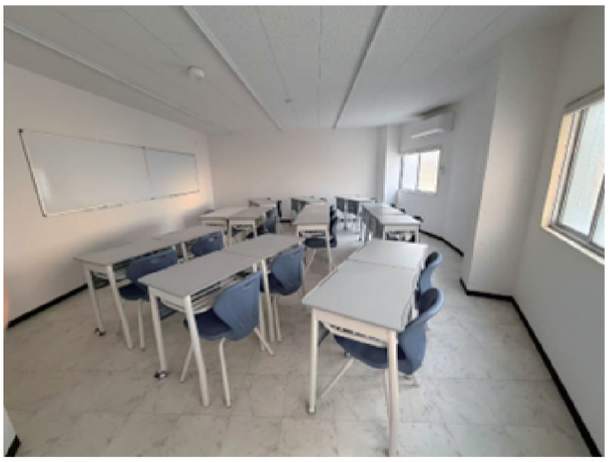
レベル	学習期間	到達目標	進学2年コース	進学1年6か月コース
A1	3か月	身近な生活で使う簡単な日本語を聞いて、必要なことがわかります。短くて簡単な文章を読んで、必要な情報を見つけることができます。身近なことについて、簡単な会話ができます。自分や家族などについて短く話したり、人や場所、仕事などについて簡単な文を書くことができます。		
A2	3か月	日常生活でよく使う日本語を聞いて、相手が伝えたいことや大切なことがわかります。簡単な短い文章を読んで、必要な情報や大まかな内容がわかります。自分の気持ちや経験、意見をわかりやすく伝えることができます。自分の生活や経験について話したり、いくつかの文をつなげて文章を書くことができます。		
B1	9か月	自分の興味がある話題の会話や説明などを聞いたり、日常生活で使われる少し長い文章を読んで、要点を理解したり必要な情報を得ることができます。自分の経験や考え、希望をわかりやすく伝え、相手の意見も聞きながら会話を続けることができます。自分の意見を理由を示しながら順序立てて発表したり、内容のつながりがわかる文章を書くことができます。		
B2	9か月	社会問題や難しいテーマについて、長い説明や会話を聞き、文章を読み、話し手や書き手の主張と根拠を理解することができます。自分の意見を根拠とともに明確に伝え、相手の考えも理解しながら話し合い、意見をまとめることができます。必要な情報を集めて整理し、根拠や論点を明確にして発表を行ったり、詳細なレポートやエッセイを書くことができます。		

校舎紹介

施設・設備



２０１教室



２０３教室



図書室



保健室

学校周辺



ハラルショップ



ベトナム食材店

褒章制度

(1) 成績最優秀賞：在学期間中の全学期において総成績がA以上の成績優秀者　50,000円

(2) 成績優秀賞：各学期の総成績がA以上の成績優秀者　10,000円

(3) 皆勤賞：半年の出席率が100%の者　3,000円

(4) 日進奨励賞：半年を通して地域と連携した活動に積極的に参加した者　5,000円

(5) スピーチ大会、書き初め、フォトエッセイコンテストにおける最優秀賞、優秀賞、3位の者

最優秀賞：　8,000円

優秀賞：　5,000円

3位：　3,000円

進学指導

専門学校へ進学したい留学生に対して、1年次から段階的にサポートを行います。面接練習や出願書類の書き方等は個別に行います。また、日本各地の専門学校の情報やオープンキャンパスの参加は管理システムで行える体制を整えています。

費 用

入学検定料:　①22,000

4月入学　進学2年コース			10月入学　進学1年6か月コース		
科目	入学時	二年次	科目	入学時	二年次
入学金	55,000	—	入学金	55,000	—
授業料	660,000	660,000	授業料	660,000	330,000
施設費	22,000	22,000	施設費	22,000	11,000
設備費	22,000	22,000	設備費	22,000	11,000
教材費	33,000	33,000	教材費	33,000	16,500
課外活動費	22,000	22,000	課外活動費	22,000	11,000
保険料	11,000	11,000	保険料	11,000	5,500
健康管理費	11,000	11,000	健康管理費	11,000	11,000
合計	②836,000	③781,000	合計	②836,000	④396,000

※ 日本円(YEN)　表示金額は税込みです。

支払いスケジュール

コース名	期日	金額	備考
進学２年コース	入学時	858,000円	①＋②
	入学翌年２月まで	396,000円	③の半分
	入学翌年８月まで	385,000円	③の半分
進学１年６か月コース	入学時	858,000円	①＋②
	入学翌年８月まで	396,000円	④

※ 日本円(YEN)　表示金額は税込みです。

学校行事

4月 Apr



入学式・健康診断

新入生歓迎会
オリエンテーション

5月 May

鈴鹿国際交流フェスタ



ボランティア活動
(清掃・植栽活動)

6月 Jun



校外学習・夏休み

7月 Jul

夏の文化体験
(浴衣・盆踊り)



8月 Aug

お盆休み

9月 Sep

学園祭・秋休み
(スピーチ大会他)





入学式

新入生歓迎会
オリエンテーション

10月 Oct

スポーツ大会



11月 Nov

防災訓練
ボランティア活動
(清掃・植栽活動)



健康診断

12月 Dec

安全講話
冬休み

1月 Jan

冬の文化体験
(書き初め・日本の正月)





校外学習

2月 Feb

卒業式



3月 Mar

春休み

学生納付金返還規定

○来日前

（１）出願書類提出後のキャンセルの場合

・理由の如何に関わらず、入学検定料は返還しない。

（２）在留資格認定証明書（COE）が交付されたが、査証の申請を行わず来日しない場合

・理由の如何に関わらず、入学検定料および入学金は返還しない。

・授業料およびその他の費用は、在留資格認定証明書および入学許可証と引き換えの　上、全額を返還する。

（３）日本在外公館によって査証発給が拒否された場合

・入学検定料および入学金は返還しない。

・授業料およびその他の費用は、当校職員が日本在外公館において査証が発給されなかったことの確認ができた後、在留資格認定証明書および入学許可証と引き換えの上、全額を返還する。

（４）日本在外公館より査証発給後に入学をキャンセルした場合

・理由の如何に関わらず、入学検定料および入学金は返還しない。

・授業料およびその他の費用は、査証が未使用で失効が確認できた後、入学許可証と引き換えの上、全額を返還する。

○来日後

・理由の如何に関わらず、入学検定料及び入学金は返還しない。

・退学届を学校が受けつけた時点で、開始していない学期の授業料の50%の金額を返還する。

・教材費と健康管理費については、退学時点で未使用分があれば、その金額を返還する。

・その他の費用は返還しない。

・ただし、退校処分に該当する学生に対しては、納付済の費用は一切返還しない。

返還は、学生より指定された返金口座に返還する。ただし、返還に係る送金手数料等は受取人負担とする。

生活関連

住まい：　下記不動産会社と提携しています。

不動産会社では、周辺の住居可能な不動産情報を紹介し、入居までをサポートします。

レオパレス21　レオパレスセンター四日市

https://www.leopalace21.com/centers/90

賃貸メイト 鈴鹿中央店

http://suzukachuo.chintai-m.net　public

（例）　シェアルーム ２名で住む場合、

1名　20,000円/月～



設備（備品）：クーラー、冷蔵庫

洗濯機、ベッド

机、電子レンジ



アルバイト：　留学生は1週間に**28時間**アルバイトができます。

アルバイトをするには資格外活動許可が必要です。

申請書類の作成・提出、アルバイトの探し方などをサポートします。



国民健康保険：本校に入学した学生は、全員加入します。この保険に加入すると、医療費の自己負担は30%ですみます。保険料は自己負担となります。

来日後、市役所にて手続きのサポートをします。

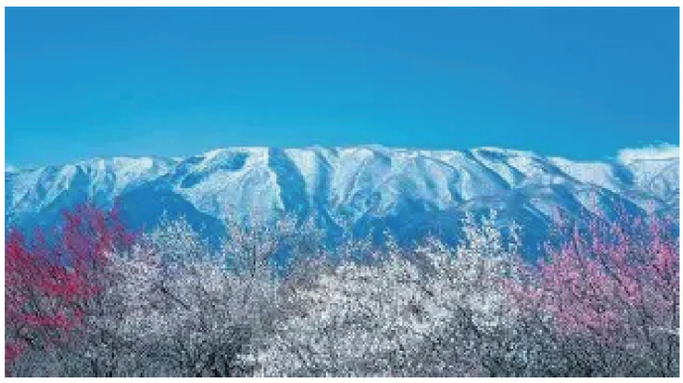
鈴鹿紹介



自然と都市機能が調和した住みやすい街です。美しい伊勢湾や鈴鹿山脈に囲まれ、四季折々の風景が楽しめます。また、交通アクセスも良く、名古屋や大阪へも便利です。

鈴鹿サーキットで知られ、モータースポーツ文化も盛んです。地域の人々は温かく、外国の方へのサポート体制も整っています。留学生にとって安心して学び、暮らせる理想的な環境です。





鈴鹿市での生活費用

在学中にかかる一般的な生活費用は平均で月額約70,000円で、内訳は以下のとおりです。

ただし、この金額は地域や住まい、個人の生活習慣によって大きく変動するので、あくまでも目安です。

項目	費用	備考
住居費	約20,000円	家賃など
食　費	約30,000円	
光熱費	約7,000円	ガス、電気、水道代など
通信費	約3,000円	携帯電話、インターネット代など
その他	約10,000円	日用品など
合　計	約70,000円	学費は含まない

〒513-0801
三重県鈴鹿市神戸一丁目5-1
1-5-1 Kanbe, Suzuka, Mie

TEL(日本):+81-59-392-9832

FAX(日本):+81-59-392-9833